



ユネスコスクール便り

令和元年 12月18日

大牟田市I社Jスクール
担当者通信

No.83

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成

気仙沼市の先生方に学ぶ 防災学習

11月15日(金)に大正小学校で防災学習が行われました。講師として宮城県気仙沼市から鹿折小学校の浅野校長先生と尾形先生が来校され、平成23年に発生した東日本大震災の3月11日の学校の様子や、そこから得た教訓など貴重な体験を子ども向け、職員向けにそれぞれお話ししていただきました。

今回のお二人の先生の来校は大牟田市が開催するマスターティーチャー養成講座や、78号で紹介したACCUプログラムを通してのつながりがきっかけで実現したものでした。こうした交流によってESDの輪が広がっているのを感じます。



職員対象の研修会の様子

交流及び共同学習(なかよし交流)を通して

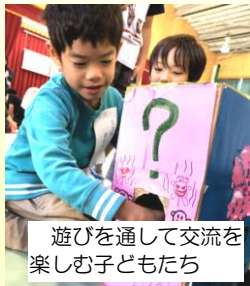
大牟田特別支援学校



大牟田特別支援学校では「交流及び共同学習」を通して、対人関係の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育成しています。障がいのある児童生徒たちにとって、同年齢の友だちと接する機会が少なく、他者と関わる大切な機会になっています。障がいのない児童生徒たちや大人にとっても、相互理解を深めたり、思いやりの心を育てたりする機会となっています。

10月30日に天の原小学校で行われたなかよし交流会では、小学部の児童と天の原小学校の5年生と一緒に遊びました。グループに分かれ、天の原小学校の5年生が考えてくれた福笑いや魚釣り、ブラックボックスなどをしました。

交流を重ねるごとに、児童生徒たちは触れ合うことの喜びを味わうとともに、周囲の人たちとつながろうとする意欲を高めることができます。



遊びを通して交流を楽しむ子どもたち

特色ある実践事例の紹介

「校区に流れる川の環境を調べよう」を通して

上内小学校



上内小学校では、自然豊かな地域の環境を生かしたESDに取り組んでいます。4年生は、社会科における大牟田の水道水や下水についての学習から、上内校区を流れる川の水質はどうなっているかという疑問をもち、堂面川の支流にあたる岡川の調査を行いました。

岡川には多くの生き物が生息し、田んぼの水として使われています。水質調査を行うと、とてもきれいな川であることが分かりました。この学習を通して、子どもたちは「きれいな岡川やそこに住む生き物を守るために、生活排水で川を汚さないようにしよう」という思いを高めていました。



岡川を調査する子どもたち

体験活動を通して自己の生き方を考える

宅峰中学校



3年生の進路選択について、高校の情報に加え、高校卒業後の大学や専門学校、さらに大学卒業後の就職など、もう一歩先の情報を提供することで、生徒が将来設計について考える機会となるように、進路学習を進めました。

高校説明会に加え、柳川高校から進路指導の原先生をお招きし、面接時の立ち振る舞いについて講話を行っていただきました。

1年生は福祉学習を行いました。「地域の福祉に学ぶ」というテーマのもと、映画『蹴る』の中村監督の講話や高齢者等の支援に関わる方々からの講話をお聞きしました。

そして、10月に福祉の職場訪問を行い、自分たちに何ができるかを考え、実践しました。



中村監督から講話を受ける生徒たち